



行事予定表		
3	火	ピヨピヨ/交通安全教室
5	木	給食費引き落とし日(3歳児以上)
12	木	希望保育日(給食あり)
13	金	希望保育日
14	土	希望保育日(土曜保育利用者のみ)
18	水	避難訓練
19	木	誕生会
23	月	巡回相談
24	火	4歳児視覚検査(13:00~)
26	木	読み聞かせ(5歳児)
27	金	よるまでお楽しみ会(5歳児)

子ども達の未来のために
 新型コロナウイルスの感染者が再び急増。追い打ちをかけるように、雨、雨・・・豪雨災害が続き、泥にまみれた被災地に胸が痛む。そんな状況でも、園内には子ども達の明るい歌声が響いている。雨上がりの青空のようだ。心を打つ。今年も短い夏になりそうだ。それでも、身近な自然の中で大いに遊んでもらいたい。

あつと言つ間の半年は、コロナ禍と天災、新型コロナウイルスも異常気象も、急激な経済成長と、自然環境の破壊が原因だ。世界のポピュリズムリーダーは、環境保護には目も向けず、自国中心、自己保身ばかり。今こそ、世界が連帯し、人間の社会と自然環境を守り、美しい地球を子ども達に残す責任が私達にある。



い心配や不安感をあけず済ませました

・先月は、職員のコロナ感染があり、大変ご心配をお掛け致しました。保護者の方々には温かいお言葉を掛けて頂き、本当にありがとうございます。ただ、5歳児ぞうグループの子ども達と保護者の方々には、夏祭りの延期となり、残念な思いをさせてしまい申し訳ありません。延期日は、9月12日です。

「夏祭り」

・保護者会からお土産やスーパーボール・ひよこ・金魚の準備をして頂き、子ども達もとても喜んでいました。ありがとうございます。園内では、夏祭りごっここの日に遊びのコーナーや盆踊りも楽しみました。幾つかのコーナーがありました。全部のコーナーであそぶ子や同じコーナーで何度も遊ぶ姿など、それぞれの楽しみ方をしていましたよ。

また、5歳児の和太鼓演奏を見て、刺激され、年下のクラスの子も達も真似て、和太鼓を打ち楽しむ姿もあり、見て学ぶ良い機会となりました。

今日の子どもの中から...

●読み聞かせ(3日)

・毎月、指導員の宮本先生と栗山先生が絵本や紙芝居を読んで下さっています。お話の世界に入り込んでいる様子が見られます。

●交通安全教室(3日)

・今月は、防犯について学びます。ご家庭でも、出掛ける時などは手を離さない、知らない人についてはついていけない等、約束事を決めておくといいですね。

●誕生会(19日)

・2クラス毎にホールで大型紙芝居の映像を見て楽しめます。誕生児にとって特別な

1日になりますように。

●4歳児視覚検査(24日) 13時

・市役所保健センターの方と茨城メディアカールセンターの方が見え、4歳児が視力検査を受けます。当日は必ず出席して下さい。(目の異常を早期発見する機会になります。)

●5歳児「よるまでお楽しみ会」(27日)

・今年も「お泊まり保育」ではなく、「よるまでお楽しみ会」を実施します。行事は当日だけではなく、そこまでの過程とその後までを含め、継続が大事だと考えています。また、職員も皆で活動内容に関わっていきます。子ども達にとって成長出来る機会となつてくれればという思いです。ぞうグループの保護者の方へは後日詳細をお知らせします。

★お願い・★お知らせ

★晴れた日は、色水遊びや泥あそび、泡遊びなどを行います。泥や絵の具がつくことでもありますので、保育園には汚れてもよい服装で登園して下さい。

☆ひかりぐみ担任の土井明日香ですが、一身上の都合により退職となりました。☆希望保育(12日・13日・14日)は利用希望を出された方のみの利用となります。詳細は先日の手紙を確認して下さい。

「昭和と平成と令和」

在園児の中には、令和生まれが増えってきました。昭和生まれの人間としては、とても年を取ったような複雑な心境です。(気持ちには若いつもり?) この間、西武園ゆうえんちの「昭和レトロ」が人気だとテレビで放送しているのを目にしました。娘にも、「お母さん昭和好きでしょ? コロナが落ち着いたら行こう!」と言われ、つてことは、昭和生まれの人間もレトロ?とまたま

た、複雑な心境。

確かに、昭和の時代は、冷房を使用していない家も沢山あった。朝から晩まで外で遊んでもいても誰にも何も言われなかった。小学校の授業が算数であろうが国語であろうが、「晴れたらプール」だった。小学校高学年になると年下の子を引き連れ、少し遠くの公園まで遊びに行ったりした。今思うとかなり自由で、やりたいことに夢中になる時間もたくさんあった。

その中で、自分の行動には責任があり、物事の良し悪しも周りの大人から教わったと思う。昔、亡き母から「食事の際に、迷い箸や箸の持ち方が違うなど行儀が悪いと祖父の箸が右手に飛んできた。」と何度となく言われた事。母は魚の食べ方が綺麗で「ネコまたぎ」(猫が魚に気付かずまたいで通る位食べ方が上手だという事)と言われた事。等を何かの折に思い出す。

自分が親になった時、自分がしてもらったことしか、子ども達に伝えることが出来なかった。時には、思い通りにならない子どもを自分の感情に任せて怒ってしまう事もあった。今は、偉そうなことも言ったりしているが、自分の子育ては、一生懸命だったが、反省だらけ・・・。

現在、仕事しながら子育てをしている保護者の方々には頭が下がる。本当に頑張っていますね。子ども達は、親だけではなく、周りの大人と社会が育てていくもの。そして、子ども達の成長に関わって行く中で親になっていくのだと思う。

園長 浅沼玲子

